



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 20, January 2018

Newsletter



年頭の挨拶

公益財団法人日本学術協力財団
会長 吉川 弘之



2018年、どんな年になるか、というよりどんな年にするかというべきでしょう。『学術の動向』が、“科学と社会をつなぐ”という再定義のもとに出発して、編集委員会で科学者の社会的役割が議論されていると聞いています。今、学術の発展が速度を増し社会に様々な効果をもたらしている状況を見れば、改めて科学者の社会における役割を考えるとときが来たと思います。

科学の中で特に進歩の速い生命、情報分野は、前者は健康の、後者は産業や日常生活の向上に寄与するものとして大きな期待がかけられていますが、一方でその影響の広さと深さを考えると、このまま進んでよいのかと感ずることが多く、科学者でない人々からも発言があります。

新しい知識の実世界への適用には必ず副作用があり、それは新薬の開発においては厳しく管理されています。多くの新しい科学知識の中からの選択、その効用の証明、安全性の確認などが人への適用前に行われ、さらに慎重に治験が行われる。広い適用には統計的な検定が行われますが、これらは法律や規則で間違いのないように運営されています。しかし、科学的知識の適用の多くは、このように慎重な手続きを経ることがない。新しい科学知識が新しい技術を生み出し、それは市場に投入され、ビジネスとして成功すれば自然に広がっていきます。

this issue

年頭の挨拶
学術会議叢書 24 発刊について
データベース「学会名鑑」について
寄附金及び賛助会費の税額控除
公開講演会開催に対する支援
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄付金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒107-0052
東京都港区赤坂 4-9-3
TEL 03-3403-9788
FAX 03-5410-1822
URL <http://jssf86.org/>

2018年1月1日発行

もちろん新薬の場合は一人一人の命にかかわるし、他の技術でも人への安全性については厳しい基準があり、これは当然のこととして理解されています。問題は一人一人には快適な技術でありながら、それが社会的な問題を起す場合です。新技術は社会的ニーズにこたえるものですが、それが社会の不具合を“治療”するものだと考えれば、技術は社会を治療するための薬でしょう。地球温暖化で経験済みのことですが、新しい生命科学や情報科学の副作用がすでに社会的に起こり、それが深刻であることが指摘されています。環境や社会に副作用をもたらすとすれば、新技術という社会への薬は実用時に慎重な配慮が必要ははずです。個人でなく、社会への適用に関する“治験”が必要である。二つの治験は全く異なる内容を持っているけれど、科学と社会の問題として同じ視点が必要ではないかと考えています。

学術会議叢書 24

『<いのち>はいかに語りうるか(仮)』の発刊について

財団では、毎年、学術図書として『学術会議叢書』を発刊しています。平成29年度は、「<いのち>はいかに語りうるか(仮)」と題し、発刊を予定しています。

内容は、第23期日本学術会議哲学委員会いのちと心を考える分科会が平成28年11月26日に開催したシンポジウムの内容を基に、最新の考察を加え、構成されています。

現在、2月の発刊を目指して、鋭意、作業を行っています。是非、ご期待ください。

なお、この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500ヶ所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

【執筆予定者】

- ・香川知晶
- ・安藤泰至
- ・斎藤 光
- ・轟 孝夫
- ・小松美彦
- ・大庭 健
- ・島菌 進
- (敬称略)

住所及びHPアドレス変更のお知らせ

日本学術協力財団は、昨年9月に、下記住所へ移転いたしました。

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3

なお、ホームページアドレスも併せて変更いたしました。<http://jssf86.org/>

データベース学会名鑑 —平成29年度調査について

財団は、平成23年7月より、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と連携してデータベース学会名鑑の運用を行っております。掲載学会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、毎年、日本学術会議が行う実態調査を基にデータを更新しております。

本サイトは、学協会関係の各種施策の企画・立案等、社会の多方面で活用されています。

平成29年度調査は、平成29年10月より開始されておりますので、各学術団体の関係者の皆様におかれましては、本事業にご協力くださいますようお願い申し上げます。

データベース学会名鑑 URL

<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai>





寄附金及び賛助会費の税額控除について

財団は、2013年4月1日に公益財団法人として再出発いたしました。

再出発に当たり、各種規定の新設及び改正を行うなど公益財団法人としての基盤を整備するとともに、賛助会費・寄附金等の税額控除の規定の適用について申請を行いました。

賛助会費・寄附金等の税額控除につきましては、2013年6月4日に認可が下り、同日以降の財団に対する寄附金・賛助会費につきましては、特定公益増進法人への寄附金として、確定申告により税額控除等の税制上の優遇措置が受けられることとなりました。

個人の方の財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の**税額控除**または**所得控除**のいずれかを選択して受けることができます。

また、お振込みいただいた翌年の1月1日現在、東京都にお住まいの方は、次の確定申告の際に、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合は、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できます。

昨年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、昨年12月初旬に領収証を送りいたしました。本年2月～3月の確定申告の際にご使用ください。なお、書類が未着の場合はご一報ください。

(本年1月以降に賛助会費をお振込みいただいた場合は、本年12月初旬頃に書類を送付する予定です。)

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

学術関係団体事務支援事業

【日本農学アカデミー】

11月12日、東京大学弥生キャンパス弥生講堂においてシンポジウム「鳥獣害—野生鳥獣による農林業被害とその対策—」が開催され、財団がその支援を行いました。

日本学術会議地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行いました。

◎近畿地区会議主催

「超スマート社会に向けて」
平成29年9月30日(土)
於：京都大学

◎北海道地区会議主催

「持続可能な世界に向けて国連が採択した目標【SDGs】と教育」
平成29年11月12日(日)
於：北海道教育大学

◎東北地区会議主催

「超高齢社会 元気に、楽しく生きる知恵」
平成29年11月25日(土)
於：東北大学

◎中部地区会議主催

「ジェンダーと名古屋大学」
平成29年11月30日(木)
於：名古屋大学



出版物のご案内

※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

学術の動向

A4判・本体価格 720円＋税（送料込）
年間購読 8,230円（税・送料込）
賛助会員は無料配布

- 17年 10月号 子どもの貧困
—成育環境に及ぼすその影響と対策—
現代社会における分断と新たな連帯の可能性
—階層・世代・民族・情報の視点から—
- 11月号 ジェンダーと科学の新しい取り組み
初等中等教育における英語教育の課題と可能性
- 12月号 社会的課題のための総合工学
若手科学者の現在と課題：若手科学者サミット



学術会議叢書

A5判・本体価格 1,800円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 1,750円（税・送料込）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 9 医療事故は予防できるか | 21 高レベル放射性廃棄物の最終処分について |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 16 食の安全を求めて | 23 子どもの健康を育むために |
| 17 ダーウィンの世界 | |
| 18 科学を文化に | |



日学新書

新書判 本体価格 750円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 730円（税・送料込）

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり



公益財団法人日本学術協力財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://jsf86.org/>

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。